

Green Concert

●グリーンコンサートプログラム●

2012年5月12日 聖パウロ女子修道会 聖堂

第1部

1. 田名網 双葉 (メゾソプラノ)

朝倉 靖雄 (リュート)

千々の悲しみ J. デプレ
サリーガーデン (佐野健二編) トラッド
三羽のカラス トラッド

2. 西野 辰子 (バロックリュート)

プレリュード (ハ長調) S. L. ヴァイス
アルマンド (イ短調) デュフォー
ジーク (イ短調) デュフォー

3. 岡田 紀世史 (ビウエラ)

騎士 Dezilde / 平易なパバーナ / 悪女 vostra /
礼儀 D. ピサドール

4. けいら みちこ (歌)

高江 剛一 (リコーダー)

神長 瞳 (リュート/リコーダー)

Vergine bella [歌・リコーダー・リュート] /
Dona gentile, bella commo loro [リュート]
..... G. デュファイ

6 Sonatas for Two Flutes より Sonata No.1
Dolce [リコーダー・デュオ] G.P. テレマン
Cara mie donna [歌・リコーダー・リュート] F. ランディーニ
Bel Fiole [リュート] P. アテニャン
Giunta vaga bilta [歌・リコーダー・リュート] F. ランディーニ

今回、中世(デュファイ、ランディーニ)、ルネサンス(アテニャン)、バロック(テレマン)といった幅広い時代の音楽を演奏します。歌詞の大意は次のとおりです。

Vergine bella (美しい聖母マリア) 人生と苦闘し、聖母マリアに助けを求める人間の切なる願いは、遠く離れた恋人に寄せる思いとも重ね合わされる <詩は、イタリアの詩人・人文主義者ペトラルカ(1304~1374)による>

Cara mie donna (僕の愛しい恋人よ) しっかりとつなぎ止めることのできない恋人に対する、不安でウジウジした煮え切らない思いを切々と歌う

Giunta vaga bilta (麗しく雅びな佇まい) 美しい女性を恋慕う汚れなき思いは、昇華され、人間としての高い徳へと導かれる

5. 小松 俊二 (バロックギター)

プレルディオとファンタジア - セスクイアルテラ -
アレマンダ - サラバンダ - ジーク G. サンズ

バロック・ギター大家 G. サンズは 1674 年にギターの指南教本を出版し、そこから 5 つのト短調組曲を選びました。まずサンズ・カンパネラと評される華やかなスケールで始まり、テンションの効いた和音のラッシュ、ラスゲアードの嵐のプレルディオとファンタジア。3:2 の比例関係を意

味するセスクイアルテラの三連符のスケール。穏やかなと形容のあるアレマンダ。フランス風のサラバンダ、最後に躍動し憂いを含むイギリスの歌によるジークでフィナーレを飾ります。

第2部

6. 青山 比呂乃 (ソプラノ)

渡辺 マリ (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

矢澤 勝之 (リュート)

La Cantate Spirituelle 《Esther》

..... E. ジャケ・ド・ラ・ゲール

エリザベート=クロード・ジャケ・ド・ラ・ゲールは、神童としてルイ 14 世の御前演奏を行ったのち、ヴィルトウオーソとして寵臣となって活動したクラブサン奏者、作曲家の女性。ド・ラ・ゲール氏と 19 歳で結婚したので長い名前です。フランスで初めてオペラを書いた女性作曲家でもあり、その宗教カンタータは旧約聖書の女性の物語を題材としたものが多く、今回はその中のエステルにガンバとリュートだけの通奏低音で挑戦します。

ペルシャ帝国のクセルクセス王は召し出しに応じなかった王妃を退け、新しい王妃を帝国中の美女を集めた中から選び出します。捕囚の民ユダヤ人モルデガイの伯父の娘エステルは親を亡くしモルデガイに引き取られたが、選ばれついに王妃となった、というシンデレラが誕生したところから、歌は始まります。

最高位の大臣ハマンに敬礼しないモルデガイとその民族ユダヤの民を滅ぼそうとするハマン。養父と自分の民ユダヤの人々を助けようとするエステルは、お手打ち覚悟で、王の前に…。歌の語り口や音楽に、今どきのドラマのナレーションと効果音楽のようなところがあり、その面白さをお届けできれば、と思います。

7. 五十嵐 春香 (19世紀ギター)

アリアと変奏 G. フレスコバルディ
練習曲 イ長調 Op.6-6 F. ソル

8. 渡辺 伊彌 (バロックリュート)

オーヴァーチュア / ブーレ / プレスト

..... S. L. ヴァイス

9. 岡沢 道彦 (リュート)

舞踏会 / メヌエット / 道化師 J. ハイドン

原曲はバリトンというヴィオラダガンバに似た弦楽器の二重奏曲 Hob.XII 3+5 です。Adagio, Menuet, Presto の三楽章。1 楽章と 3 楽章のタイトルは私がつけました。低音弦からソラレファラドミソと並べる新調弦の 8 コース・リュートで演奏します。

10. 五十嵐 正明 (バロックリュート)

組曲ハ長調

<プレリュード / アルマンド / ケーラント /
メヌエット / ジーク> J. G. コンラディ